

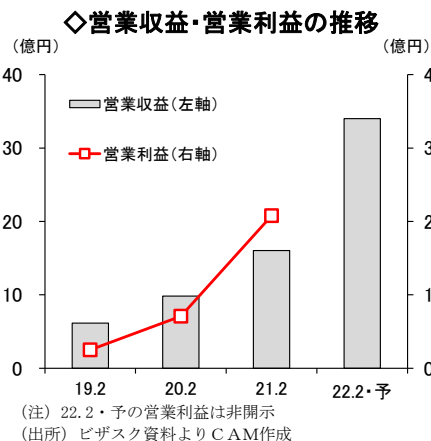
企業ニュース ビザスク

(東証マザーズ : 4490) <http://visasq.co.jp/>

作成者: 村上大志

知見プラットフォーム事業を展開

2012年設立。ビジネス知見を有するアドバイザーを顧客とマッチングさせ、スポットコンサル(1時間単位の電話や対面でのインタビュー)を提供する知見プラットフォーム事業を展開。取扱高の約8割を占める「ビザスク interview」は、専任の担当者が顧客からの依頼事項を確認し、同社サービス登録者や外部ネットワークから適任者を紹介するフルサポート型のサービス。そのほか、アドバイザーの選定などを自ら行うセルフマッチング形式の「ビザスク lite」、オンライン・アンケート形式で多数のアドバイザーの知見を収集できる「ビザスク expert survey」、スポットではなく長期的にアドバイザーが知見を提供する業務委託形式の「ビザスク partner」などを展開する。



事業は順調に拡大、大型買収による業績貢献は第4四半期から

22.2期・第2四半期累計(3-8月)の連結業績は営業収益が11億8,700万円、前年同期比72%増、営業利益は買収に係る費用の計上で9,600万円の赤字となった(前年同期は5,900万円の黒字)。アドバイザー数は同34%増の約16万人と順調に増加、法人クライアント口座数は同52%増の921口座と、事業法人の新規顧客獲得をはじめとして好調に推移している。後述の買収に係る費用を除いた営業利益は2億7,500万円と大幅な増益を達成している。

22.2期の会社計画は営業収益が34億円、前期比112%増。10月31日にスポットコンサルティング大手のColeman Research Group Inc.(米国)を買収予定。第4四半期から業績に寄与する予定だが、のれん償却費の算定に時間を要するため営業利益以下は未定。買収により世界7拠点となり、時差や言語対応、ローカルな知見の探索力の強化が見込まれグローバル展開の加速が期待できよう。買収によるのれんは100億円、償却期間は10-15年、各年の償却費は6億7,000万円~10億円程度と見積もっているが、統合後ののれん償却前営業利益は14億円程度を想定しており、今後の成長を加味しない営業利益で4億円~7億3,000万円程度を見込む。

[株価動向・投資判断]

国内事業の拡大に加えグローバル展開の加速により業績拡大が期待できよう。

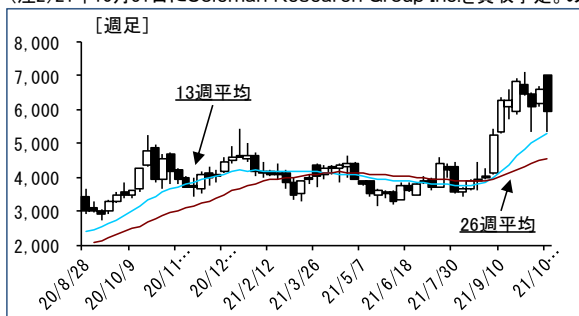
<4490 ビザスク 業績: 日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	営業収益	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
20.2	983 (60)	71 (184)	57 (138)	52 (92)	6.9	0.00
21.2	1,604 (63)	208 (192)	197 (245)	201 (282)	23.4	0.00
22.2 予	3,400 (112)	- (-)	- (-)	- (-)	-	0.00

(注1) 20.2期は四半期連結財務諸表を作成していないため、連結会計年度に代えて事業年度の数値

(注2) 21年10月31日にColeman Research Group Inc.を買収予定。のれん償却費の算定に時間を要するため、22.2期の営業利益以下は未定



[主要株価指標] (売買単位: 100株)

株価 (2021/10/22)	5,960 円
年初来高値 (高値日)	7,120 円 (21/9/28)
同 安値 (安値日)	3,165 円 (21/5/18)
予想 P E R (22.2 予)	— 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	90.9 円
P B R	65.58 倍
予想配当利回り	0.00 %
(1株当たり配当金年0.00円)	
R O E (21.2)	19.7 %
発行済み株式数	891 万株